

領 収 書

No. 21051802

長浜なるひと 様

2022年 2月 18日

金額 ￥87,450※ (内 消費税 ￥7,950-)

但し「議会報告書」制作・印刷費 として

収入印紙
(税抜き
5万円
以上)

株式会社ナレッジファクトリー
〒327-0102 栃木県佐野市出流原町599-7
TEL/FAX 0283-55-4027

令和4年

春号(1号)

つながり

2022

発行

佐野市議会議員 長浜なるひと

佐野市閑馬町2109

TEL:080-1228-2603

MAIL:nagahamanaruhito@gmail.com

https://naruhito0403.amebaownd.com/



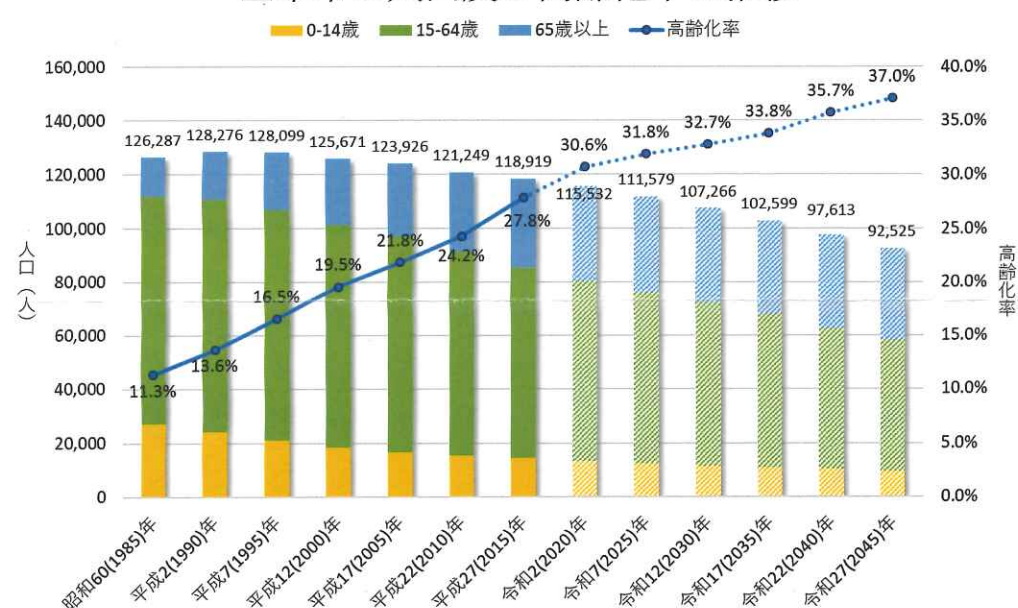
【ごあいさつ】

コロナ禍において、今なお厳しい状況が続いています。様々な問題に直面している中でも、将来にわたって安心して暮らし続けていくための時代に即した地域づくりを進めていかなければなりません。加えて、少子高齢社会の中でお年寄りを支え、これからの未来をつくっていく若い世代の声をさらに市政に反映させていきたいと考えています。

令和四年寅年の今年、常に時代の先を見据え、力強く歩みを進める一年にしていきたいと思います。

【佐野市のこれから】

■本市の人口及び高齢化率の推移



本市の年齢(3区分)別人口および高齢化率

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

※高齢化率は年齢「不詳」を除いた総人口を分母とする。

佐野市の総人口は、平成2(1990)年の128,276人を境に減少傾向にあり、令和22(2040)年には10万人を下回る予想となっています。その減少率は約30%です。地域での様々な活動を支える担い手が不足することで、地域コミュニティ機能や共助機能の低下、各地域に根付く伝統や文化の喪失などが懸念されています。こういった状況が地域経済の収縮、地域の衰退、市民サービスの低下を招き、さらに人口が減っていくといった悪循環、負のスパイラルから抜け出せなくなってしまう可能性が高くなります。そのような状況に陥らないように、まちの好循環をつくり、拡大していく取り組みを進めていきたいと考えています。

【プロフィール】

平成3年4月3日生まれ。佐野市閑馬町出身。閑馬小学校、佐野日本大学中学校(生徒会副会長)、佐野日本大学高等学校(生徒会長)、日本大学文理学部社会学科卒業。北海道旅客鉄道株式会社、参議院議員和田政宗秘書、協同組合キャリアステーションにて勤務。

令和3年の佐野市議会議員選挙に30歳で出馬し、初当選。

「若い力、安心のまちづくりに挑戦」をスローガンに、活動中。

○市政へのご要望・ご相談がございましたら是非お聞かせ下さい。

佐野市議会議員

長浜なるひと議会報告

令和3年第4回定例会(6月)・・・抜粋

Q. 中山間地域の人口減少は著しい状況にある。中山間地域の課題解消に向けて行っている取り組みと今後の展開について伺いたい。(他の質問：「若年層の転出防止の対応策」など)

A. 総合政策部長

中山間地域において、将来にわたり地域住民が暮らし続けることができるよう、必要な生活サービスの維持や地域における仕事、収入を確保し、継続できるような小さな拠点づくりを進めています。そのために、今年度は地域づくりの専門家を招聘し、各地区において勉強会を開催するとともに、地域の皆様が主体的に地域づくりのビジョンを描く話合いの場を設け、継続させていくことで地域の課題解決につながる拠点づくりの取り組みを積極的にサポートして行きたいと考えています。

令和3年第5回定例会(9月)・・・抜粋

Q. 昨今の激甚化する自然災害への対策は欠かせない。中山間地域の防災・減災対策に関する本市の課題と今後の取り組みについて伺いたい。(他の質問：「子育ての経済的・精神的負担軽減の取組」など)

A. 行政経営部長

中山間地域の防災・減災対策に関する課題としては、災害発生初動機における情報通信手段の確保、孤立集落に対する救助、避難物資供給、高齢者等の避難生活、土砂災害への対応などがあります。特に高齢者等の避難生活に係る具体的な対応については、軟らかく温かい食事を提供することができる備蓄食の検討、災害協定に基づき公的宿泊施設、旅館等への一時避難が可能となるスキームの検討、ストレスによる精神的ケア体制の構築など、安心して避難していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

令和3年第7回定例会(12月)・・・抜粋

Q. 中山間地域、都市的地域等を問わず、避難体制等の整備はさらに力を入れていかなければならないと考えるが、本市の取り組みと今後の展開について伺いたい。(他の質問：「まちなかの活性化」など)

A. 行政経営部長

避難体制の整備として、昨年度から市指定避難所58ヶ所のうち、城北地区、赤見地区、田沼地区、葛生地区の各公民館4ヶ所を体調不良者専用避難所として指定し、避難情報が発令された際に、頭痛や腹痛、基礎疾患をお持ちの方などがちゅうちょなく避難できるよう整備を進めてまいりました。また、全ての市指定避難所に感染症対策やプライバシー確保などの観点から、非接触型体温計や段ボールベッド、ワンタッチパーティションなどの準備をいたしました。今後も市民の皆様が安心して避難できるよう努めてまいりたいと考えています。



長浜成仁 議員